

平成29年度事業別評価調書（チェックリスト）

|   |  |                  |                              |                  |                            |  |                      |            |  |                                  |            |
|---|--|------------------|------------------------------|------------------|----------------------------|--|----------------------|------------|--|----------------------------------|------------|
| 整理番号  | 106  | 事業名              | 交付金事業（砂防）                    |                  | 補助<br>単独                   | 地区名<br>（事業箇所名）   | 滝ノ沢                  | 関係<br>市町村名 | 矢祭町  | 担当部（局）<br>課名                     | 土木部<br>砂防課 |
| 評価の対象となる理由  | 第1項第2号：事業採択5年経過で未着工  |                  |                              |                  |                            | 前回評価時<br>の対応方針   | 委員会からの提言：－<br>付帯意見：－ |            | 県の対応方針：－   |                                  |            |
| 事業根拠法・要綱等の名称  | 砂防法第5条   |                  |                              |                  |                            |  |                      |            |  |                                  |            |
| 事業概要  | [事業目的及び全体計画]<br>(1) 事業目的<br>平成22年8月豪雨により溪流上流部で斜面崩壊が発生し、溪流上流部には不安定土砂が堆積しており、土砂流出の危険性が非常に高いことから、砂防えん堤を整備し、土砂災害の防止を図り、地域住民の生命と財産を守るとともに、道路の安全な通行を確保する。<br>(2) 全体計画<br>砂防えん堤 3基<br>[ ] は事業採択時  |                  |                              |                  |                            | [事業に関する社会経済情勢]（特記すべき事項）<br>(1) 現在の状況<br>溪流上流部の山腹崩壊や溪岸侵食が著しく、多量の土砂が堆積しているため、出水時には土石流により人家等に被害を及ぼす恐れが高く、依然として整備の必要性が高い。<br>(2) 変化の有無 有・ <b>無</b><br>(3) 変化の内容<br>(4) 地域の協力体制等<br>一部の地権者より合意が得られていない状況にあるが、地元は事業の推進に対して協力的であり、早期完成を望んでいる。   |                      |            |  |                                  |            |
|   | 事業の採択年度  | H24              | 完成目標年度<br>※                  | [H32]<br>H35     | 用地着手年度                     | H30  | 工事着手年度               | H30        |  | [事業に関連する評価指標等]<br>(1) 主要な評価指標の変化 |            |
|   | 事業費<br>（百万円）   | 全体事業費<br>（うち用地費） | これまでの<br>投資事業費<br>合計         | 左の財源内訳又<br>は負担割合 | これまでの年度別投資実績（29年度は見込額である。） |  |                      |            | [事業に関連する評価指標等]<br>(1) 主要な評価指標の変化   |                                  |            |
|   | 550<br>（20）  | 71<br>（0）        | 国 1/2<br>県 1/2<br>市町村<br>その他 | ～26年度            | 27年度                       | 28年度   | 29年度                 | 評価指標（土砂量）  | 事業採択時（H24）   | 評価実施時（H29）                       | 増減（＋－）     |
| 進捗率   | 事業費ベース   | 12.9%            | 用地費ベース                       | 0%               | その他（ ）                     |  | %                    |            | ①災害発生時の影響<br>保全対象の状況：人家33戸、事業所2戸、県道223m、町道484m<br>②過去の災害発生実績<br>平成22年8月豪雨<br>(2) その他特記すべき事項<br>特になし<br>[環境への影響等]<br>希少野生動植物の情報に基づく対応 <b>実施</b> ・未実施<br>(1) 環境への影響内容とその対策<br>「ふくしまレッドリスト情報管理要領」に基づき希少種の有無を確認した結果、希少種植物が該当したため、土地の改変等については必要最小限となるように留意する。<br>(2) その他特記すべき事項<br>特になし |                                  |            |
| 事業の進捗状況   | [整備の状況]<br>滝ノ沢は平成24年度より事業を開始したが、工事に着手していない。<br>[事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し]<br>平成30年度より工事に着手する予定である。<br>砂防えん堤計画内の地権者からは合意を得られているが、工事用道路計画内の一部の地権者からは合意を得られていないため、完了目標年度を延ばしている。<br>地権者に対しては、平成29年度に対策結果の説明を行い合意を得る予定であり、合意後速やかに用地取得への事務手続きを進め、平成35年度の完成を目指す。<br>[関連事業の進捗状況]<br>関連事業なし |                  |                              |                  |                            | ①災害発生時の影響<br>保全対象の状況：人家33戸、事業所2戸、県道223m、町道484m<br>②過去の災害発生実績<br>平成22年8月豪雨<br>(2) その他特記すべき事項<br>特になし<br>[環境への影響等]<br>希少野生動植物の情報に基づく対応 <b>実施</b> ・未実施<br>(1) 環境への影響内容とその対策<br>「ふくしまレッドリスト情報管理要領」に基づき希少種の有無を確認した結果、希少種植物が該当したため、土地の改変等については必要最小限となるように留意する。<br>(2) その他特記すべき事項<br>特になし |                      |            |  |                                  |            |
| みなし進捗率 = (B) / (A) = 31% < 70%<br>全体事業費550百万円<br>投資済事業費(B) = 71百万円<br>全体工期12年 |  |                  |                              |                  | 評価 A、 <b>B</b> 、C          |  |                      |            |  |                                  |            |
| みなし事業費(A) = _____ × 経過年数5年 = 229百万円   |  |                  |                              |                  | 評価 <b>A</b> 、B、C           |  |                      |            |  |                                  |            |

※完成目標年度は、標準的な工程を想定して設定しているが、毎年度の予算は担保されたものではなく、用地取得状況や施工上の条件変化等、不確定な要素があるため、確定したものではない。

平成 29 年度事業別評価調書 (チェックリスト)

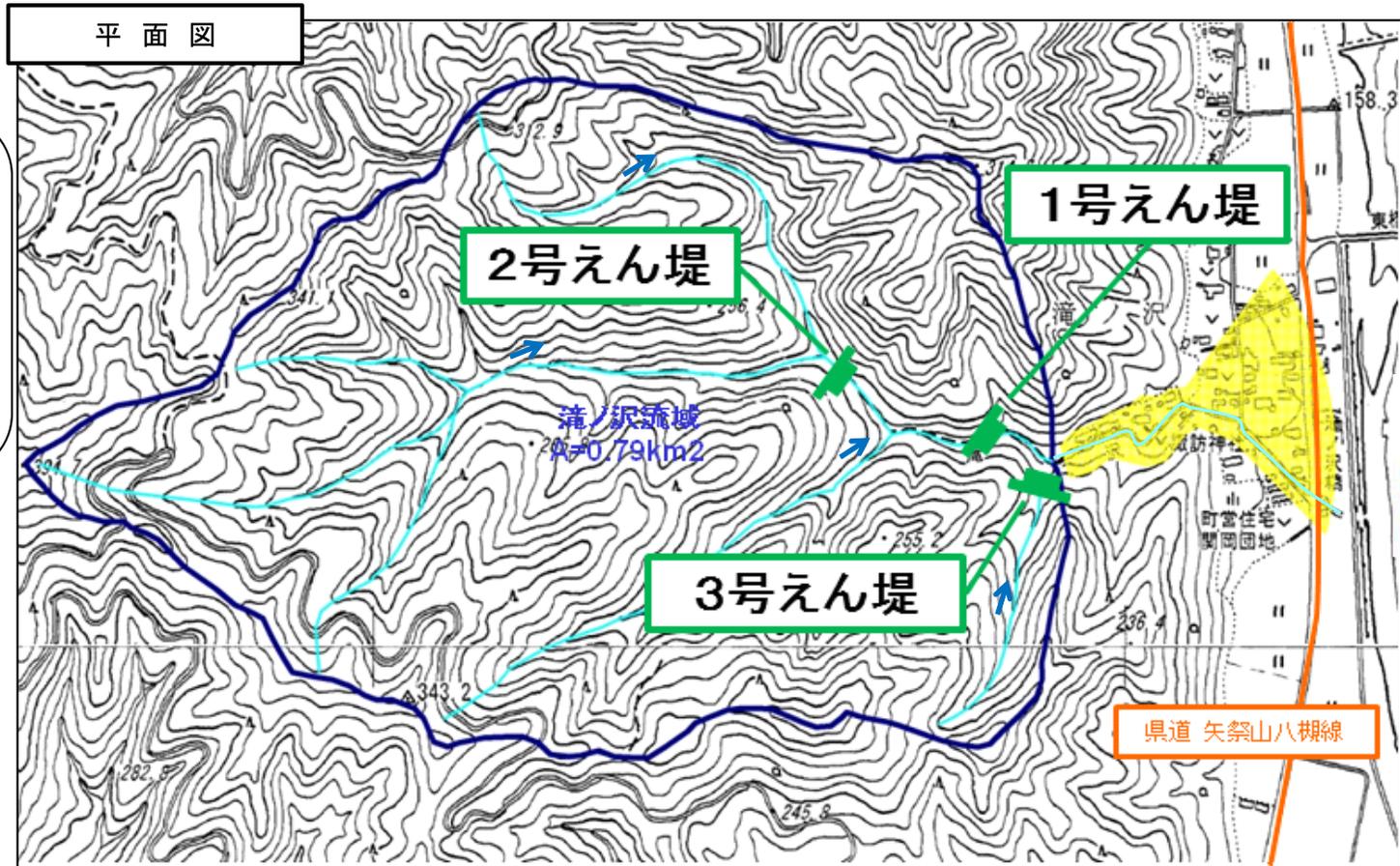
|  |  |                           |  |       |  |  |                    |     |    |
|--|--|---------------------------|--|-------|--|--|--------------------|-----|----|
| 地元住民・受益対象者及び関係機関の意向  | <p>【地元住民・受益対象者の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の状況<br/>平成22年8月豪雨により溪流上流部で斜面崩壊が発生しており、早期対策が望まれていた。</p> <p>(2) 評価実施時の状況<br/>工事用道路計画内の一部の地権者より合意が得られていない状況にあるが、平成29年度に対策結果の説明を行い理解を得る予定である。</p> <p>【関係機関・団体の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の状況<br/>平成22年8月豪雨により溪流上流部で斜面崩壊が発生しており、地元から早急な土砂災害対策を望まれていた。</p> <p>(2) 評価実施時の状況<br/>近年、各地で集中豪雨が発生していることから、引き続き、早急な土砂災害対策を求められている。</p>   | 計画変更の必要性・コスト縮減や代替案立案等の可能性 | <p>【計画変更の必要性】</p> <p>(1) 必要性の有無                    有                    (無)</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容</p> <p>【代替案立案の可能性】</p> <p>・溪流上流部には不安定土砂が堆積しており、土砂流出の危険性が非常に高いことから、砂防えん堤整備案以外の方法は考えられない。</p> <p>【コスト縮減の取組等 (特記すべき事項)】</p> <p>・残存型枠の使用を積極的に進める予定である。</p>  |       |  |  |                    |     |    |
|  | <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px 5px;">(A)</td> <td style="padding: 2px 5px;">B、</td> <td style="padding: 2px 5px;">C</td> </tr> </table>   | 評価                        | (A)  | B、    | C  | <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px 5px;">(A)</td> <td style="padding: 2px 5px;">B、</td> <td style="padding: 2px 5px;">C</td> </tr> </table> | 評価                 | (A) | B、 |
| 評価   | (A)  | B、                        | C  |       |  |  |                    |     |    |
| 評価   | (A)  | B、                        | C  |       |  |  |                    |     |    |
| 費用対効果分析等の要因の変化   | <p>【費用対効果分析等】</p> <p>(1) 手 法<br/>土砂流対策事業の費用便益分析マニュアル (案) (平成24年国土交通省水管理・国土保全局通知) に基づいて算出し、土砂災害計画区域等における資産等の被害額から事業を実施したことによる被害軽減額を算出し、その便益と砂防施設の完成に要する今後の事業費により効果分析を行う。</p> <p>(2) 費用対効果の変化</p> <p>[今回評価時]</p> <p style="margin-left: 20px;"><math>B/C = \frac{2,446 \text{ 百万円}}{408 \text{ 百万円}} = 6.00 (\geq 1.00)</math></p> <p style="margin-left: 20px;">B: 砂防事業における総便益 (直接被害抑止効果+間接被害抑止効果+残存価値の合計)</p> <p style="margin-left: 20px;">C: 砂防事業に要する総費用 (用地費+建設費)</p> <p>【費用の変化等で特記すべき事項】</p> <p>・特になし</p> <p>【需要効果の変化等で特記すべき事項】</p> <p>・特になし</p> | 総合評価                      | <p>【総合評価と対応方針案】</p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             溪流上流部には不安定土砂が堆積しており、依然として土砂災害の発生する危険性が高いことから、今後も計画的に事業を進める必要がある。         </div> <p>(2) 対応方針及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%; padding: 5px;">対応方針案</td> <td style="padding: 5px;">事業継続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の事業の進め方</td> <td style="padding: 5px;">計画的な投資により、事業を推進する。</td> </tr> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 10px;"></div> | 対応方針案 | 事業継続   | 今後の事業の進め方  | 計画的な投資により、事業を推進する。 |     |    |
|  | 対応方針案  | 事業継続                      |  |       |  |  |                    |     |    |
| 今後の事業の進め方  | 計画的な投資により、事業を推進する。   |                           |  |       |  |  |                    |     |    |
| <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px 5px;">(A)</td> <td style="padding: 2px 5px;">B、</td> <td style="padding: 2px 5px;">C</td> </tr> </table> | 評価   | (A)                       | B、   | C     | <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px 5px;">(A)</td> <td style="padding: 2px 5px;">B、</td> <td style="padding: 2px 5px;">C</td> </tr> </table> | 評価   | (A)                | B、  | C  |
| 評価   | (A)  | B、                        | C  |       |  |  |                    |     |    |
| 評価   | (A)  | B、                        | C  |       |  |  |                    |     |    |

[位置図] 及び [事業概要図]

位置図



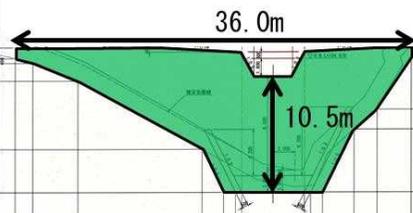
平面図



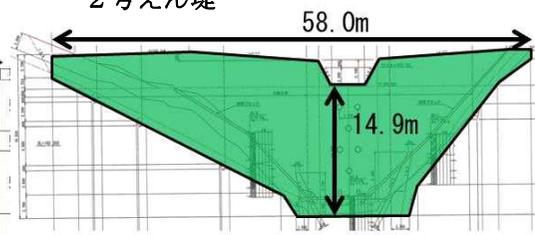
凡例

- 流域
- 平成29年度以降施工施設
- 被害想定範囲

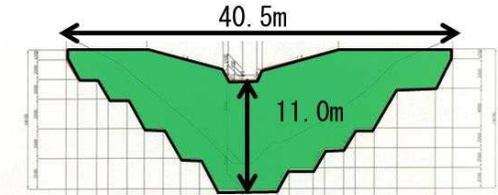
1号えん堤



2号えん堤



3号えん堤



## 費用対効果分析について（説明資料）（B/C算出根拠資料①）

### （1）事業の概要

| 河川名 | 事業名       | 延長       | 関係市町村名 |
|-----|-----------|----------|--------|
| 滝ノ沢 | 交付金事業（砂防） | 砂防えん堤 3基 | 矢祭町    |

### （2）費用対効果の算出について

#### ① 費用

|                    | 事業費    | 維持管理費 | 合計            |
|--------------------|--------|-------|---------------|
| 基準年                | 平成29年  |       |               |
| 単純合計               | 550百万円 | 0百万円  | 550百万円        |
| 基準年における<br>現在価値（C） | 408百万円 | 0百万円  | <u>408百万円</u> |

#### ② 便 益

|                    | 氾濫防止便益*1    | 残存価値*2 | 合計              |
|--------------------|-------------|--------|-----------------|
| 基準年                | 平成29年       |        |                 |
| 供用年※               | 平成35年       |        |                 |
| 施設完了後の<br>評価期間     | 平成36年～平成85年 |        |                 |
| 評価対象期間<br>終了時点     | —           | —      | —               |
| 基準年における<br>現在価値（B） | 2,427百万円    | 19百万円  | <u>2,446百万円</u> |

\*1氾濫防止便益は、事業の途中段階においても発生し、さらに事業完成後50年まで発生するものとする。

\*2護岸等の構造物は評価対象期間終了時点の残存価値を10%とする。構造物以外は、減価しないものとする。

#### ③ 結 果

|            |      |
|------------|------|
| 費用便益比（B／C） | 6.00 |
|------------|------|

※供用年は、標準的な工程を想定して設定しているが、毎年度の予算は担保されたものではなく、用地取得状況や施工上の条件変化等、不確定な要素があるため、確定したものではない。

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。